

第3回 原子力災害対策本部会議 議事概要

1. 日時

平成23年3月12日（土） 12:08～（12:41までには終了）

※開始時間は、原子力災害対策本部の議事に入った時間。

2. 場所

官邸4階大会議室

3. 構成員等

本部長：菅直人内閣総理大臣

副本部長：海江田万里経済産業大臣

本部長：片山善博総務大臣・内閣府特命担当大臣（地域主権推進）・地域活性化担当、松本剛明外務大臣、野田佳彦財務大臣、高木義明文部科学大臣、細川律夫厚生労働大臣、鹿野道彦農林水産大臣、大島章宏国土交通大臣・海洋政策担当、松本龍環境大臣・内閣府特命担当大臣（防災）、北澤俊美防衛大臣、枝野幸男内閣官房長官・内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）、中野寛成国家公安委員会委員長・公務員制度改革担当・拉致問題担当、伊藤哲朗内閣危機管理監
その他：江田五月法務大臣、自見庄三郎郵政改革担当・内閣府特命担当大臣（金融）、蓮舫内閣府特命担当大臣（行政刷新、消費者及び食品安全）、玄葉光一郎国家戦略担当・内閣府特命担当大臣（「新しい公共」、科学技術政策）・宇宙開発担当、与謝野馨閣府特命担当大臣（経済財政政策、少子化対策、男女共同参画）・社会保障・税一体改革担当 等

※緊急災害対策本部（全国務大臣で構成）と連続開催のため、本部長以外の閣僚も原子力災害対策本部に出席。

※本部長ではないが、本部会合には原子力安全委員会委員長が出席する。

4. 配布資料

- ・福島第一原発の事故に係る避難について（3月12日10:30現在）（官邸対策室）
- ・福島第二原発の事故に係る避難について（3月12日10:10現在）（官邸対策室）
- ・第1回緊急災害現地对策本部会議資料
- ・緊急物資の調整状況について（内閣府）
- ・東北地方太平洋沖地震による道路被害状況等について

※上記資料については、緊急災害対策本部と同時開催のため、一部資料が重複している可能性あり。

5. 議事概要

○枝野幸男内閣官房長官から、第5回緊急災害対策本部及び第3回原子力災害対策本部の開会を宣言。

○菅直人内閣総理大臣より下記のとおり挨拶。

- ・今朝6時から自衛隊のヘリコプターで現地を視察した。まず福島第一原子力発電所を訪れ、既に10km圏の待避を行っているが、その対処方について現地の責任者・行政の皆さんと話をした。その後、仙台から石巻の方向まで上空からも視察した。

- ・大変強く感じたのは、今回の地震は津波地震であるということ。多くの海岸沿いで住宅地であったところがほとんど流失している。さらには海岸沿いでまだ火災が続いている。そういう地域が沢山あり、その一方で、上空から見る限りは津波以外の家の倒壊はあまり目立たない。まず津波による被害を含めて、この一日、どこまで救出作業が進むか大変重要な一日であると感じている。
- ・食料、水はもちろんだが大変寒い。たぶん今日の朝も零下になった地域も多かったと思うが、それに加えて毛布、海岸沿いも多いということで、仮設トイレも大変重要と思う。既に自衛隊は8,000人からさらに20,000人態勢を組んで頂いているが、先ほど防衛大臣と話をし、更に全国から総動員を頂き、まずは50,000人態勢ということでやっていく。警察、消防、海上保安庁の全ての皆さんに、特に今日こそ最大限の力で生存者・孤立者を救っていく活動をぎりぎり頑張りぬいていただきたい。
- ・今、原子力発電所は（福島）第一発電所は既に10km圏の待避を進めているところである。1号機などから住民には健康被害を及ぼすことはない微量な放射能が流出しているが、この10km圏の皆さんに待避いただくことで国民の健康を守るという体制をとって参りたい。福島第二原発については、放射能の漏れは現在までまだ出ていない。しかし、既に3km圏の住民には念のため待避をするよう、今作業を進めているところである。
- ・いずれにしても国民の命、生活、財産を守るのが私たちの使命であるから、全力を尽くして頑張り抜いて頂きたい。このことを申し上げてこの回の皆さんへの私からの指示とさせていただきます。

（菅直人内閣総理大臣の挨拶に続き、第5回緊急災害対策本部の議事が行われた。記載略。）

○枝野幸男内閣官房長官から、第5回緊急災害対策本部に続いて、第3回原子力災害対策本部の議事に入る旨案内。

○海江田万里経済産業大臣から原子力発電所の現状について下記のとおり報告。

- ・福島第一原子力発電所の1号機については、ベント作業を開始。二つの弁のうち、一つ目の弁は開放したが、もう一つの弁の周辺の放射線量が高く、近づけないため、作業手順を見直しているところ。
- ・福島第二原子力発電所についても、ベントに向けた準備作業を開始した。
- ・避難状況について、大熊町は集合場所に集まっている町民の3分の2程度が終了、双葉町については8割程度が終了、富岡町、浪江町、楢葉町については現在人数を把握している段階だが、渋滞がひどい状況。
- ・モニタリングポストの指示値については、福島第一原子力発電所周辺においては、事業者の測定により、周辺監視区域境界近傍の結果について、12日11時現在、上昇傾向にあることを確認。福島第二原子力発電所については、モニタリングポストの測定結果には特段の変化はみられない。
- ・電源について、川崎火力発電所及び東京から、バッテリーを福島第二原子力発電所付近の福島Jビレッジに搬送済みであるが、さらに福島第一原子力発電所に搬送しているところ。到着次第、発電所内設備に接続する予定。
- ・引き続き、安全確保に向け、万全を尽くして参りたいのでご協力よろしくお願ひしたい。

○中野寛成国家公安委員長から、警察官により福島第一原子力発電所周辺住民の避難誘導、

交通整理活動を実施している旨発言。

○菅直人内閣総理大臣から「楽観はできない」との発言。

○玄葉光一郎国家戦略担当大臣から「メルトダウンの可能性はある。避難地域は10kmでいいのか。考え直す必要はないのか。」との発言。

○枝野幸男内閣官房長官から閉会を宣言。

以上

※本議事概要は各種資料等を元に、2012年3月1日に整備。